

工事の げんば 現場より

今はこんな様子だよ。



1月3週目

令和4年11月に着手した月華殿の保存修理工事は、翌月の下旬より工事を安全円滑に行うために、建物全体を覆う「素屋根」を設けてその内部で工事を続けていました。屋根の葺替や外壁の塗り直し、木部や雨戸の修理など外側の工事を順調に進め、令和6年1月には長らく建物を風雨から守ってきた素屋根の解体を行いました。約1年ぶりのお目見えとなった外観は、新たに葺き替えた屋根の鮮烈な色味と綺麗な稜線が際立って目を引きまします。内部の工事はあと少し続くのでしばらくは工事中モードですが、完成の暁には工事を終え装いを新たにした建物内外部の様子を間近でご覧いただく機会も設ける予定です。どうぞお楽しみに！



素屋根建設中

令和4年12月、名残の紅葉がまだ美しい時期に、素屋根の建設工事が始まりました。



素屋根解体中

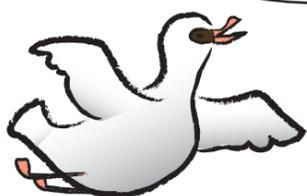
外側の幕を剥がし、天井を取り去り、パイプで組まれた骨組みを少しずつ解体していき、建物の外側が少しずつ見えてきました。



素屋根設置後

建物全体を覆う大きな素屋根が設けられました。この素屋根が1年強の間、中の建物と工事の円滑安全な運行を守り続けたのです。

外側の工事は
終わったけど、内部は
まだまだ工事中。



現在の内部の様子

内部も順調に復旧作業が進められていますが、まだまだ工事中の装い。もうしばらくは工事中、残りの仕事も丁寧に進めていきます。